

Ⅲ.1 連合会景況調査 (2024_4_6 連合会景況抜粋)

1. 最新報告書《2025.1.31 時点》
報告書全文は下記ホームページよりダウンロードいただきご参照方。
<https://www.miyagi-fsci.or.jp/businessreport/>
2. 本報告書の抜粋
表紙からから 4 ページまでを以下に抜粋

宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2024 年 4 月～6 月期

目	次
1. 県下産業全体の景況	2
(1) 主要景況項目のあらまし	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし	3
(3) 今後の見通しについて	4
2. 県下産業別の景況	5
(1) 製造業の動向	5
(2) 建設業の動向	8
(3) 小売業の動向	11
(4) サービス業の動向	14

2024 年 8 月

宮 城 県 商 工 会 連 合 会

中小企業景況調査報告書

2024 年 4 月～6 月

[調 査 要 領]

1. 調 査 対 象

- (1) 対 象 地 区 宮城県内 10 商工会地区
(調査対象商工会名) 名 取 市 商 工 会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、
利府松島商工会、くろかわ商工会、加 美 商 工 会、
遠 田 商 工 会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 1 5 0 企業
- (3) 回答企業数 1 4 9 企業

2. 調査対象期間

2024 年 4 月～6 月期を対象として、調査時点は 2024 年 6 月 1 日とした。

3. 調 査 方 法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 2
建 設 業	2 4
小 売 業	4 3
サービス業	5 0
合 計	1 4 9

5. そ の 他

本報告書中の D I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇・好転) 企業割合と減少 (低下・悪化) 企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況D Iの状況と来期見通し

県下商工会地区における今期（2024年4月～6月期）の調査において、産業全体（全産業）の業況D I（前年同期との比較D I、以下同じ）は、前期より△4.1ポイント悪化し△29.3（前期△25.2）となった。産業別では、製造業が△43.8（前期△32.3）で△11.5ポイントの悪化、建設業は△12.5（前期△25.0）で12.5ポイントの改善、小売業は△36.5（前期△27.9）で△8.6ポイントの悪化、サービス業でも△22.0（前期△18.4）と△3.6ポイントの悪化となった。

来期見通しでは、製造業、サービス業で改善する一方、建設業、小売業では悪化する見通しとなっている。

表－1 業況D Iの状況と来期見通し（前年同期比・D I）

業 種	前 期	今 期	来期見通し
全 産 業	△ 25.2	△ 29.3	△ 27.2
製 造 業	△ 32.3	△ 43.8	△ 25.0
建 設 業	△ 25.0	△ 12.5	△ 29.1
小 売 業	△ 27.9	△ 36.5	△ 41.5
サービス業	△ 18.4	△ 22.0	△ 16.0

② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が9.4%で前期比△8.8ポイント減少、建設業は8.3%で前期比△4.2ポイント減少、小売業では11.6%で前期比2.3ポイント増加、サービス業でも14.0%と前期比3.8ポイントの増加であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べて製造業で横ばい、建設業、小売業、サービス業で減少する見通しとなっている。

表－2 設備投資の状況と来期計画（企業割合・%）

業 種	前 期	今 期	来期計画
製 造 業	18.2	9.4	9.4
建 設 業	12.5	8.3	4.2
小 売 業	9.3	11.6	7.0
サービス業	10.2	14.0	8.0

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

2024年6月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（DI）は前期（2024年3月調査）と比較し、製造業がマイナス1で前期比横ばい、非製造業はプラス12で前期比1ポイント低下。世界的なデジタル関連需要の回復や、円安などを背景にインバウンド需要が拡大している一方、人件費の増加や物価上昇による消費低迷などへの懸念が企業マインドの重石となり、景況感は小幅に悪化する見込み」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）DIは、前期との比較では製造業、小売業、サービス業で悪化、建設業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額DI比較では、製造業、小売業、サービス業で全国・東北以下、建設業で全国・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・DI)

区 分 業 種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 11.6	△ 11.4	△ 28.6	△ 20.6	△ 27.3	△ 34.4
建 設 業	△ 15.9	△ 9.3	△ 26.6	△ 15.7	△ 29.2	△ 8.3
小 売 業	△ 23.2	△ 20.1	△ 32.9	△ 31.2	△ 7.0	△ 32.5
サービス業	△ 3.7	△ 0.9	△ 7.6	△ 8.4	0.0	△ 18.0

② 採 算

宮城の今期の採算DIは、前期との比較で製造業、サービス業で悪化、建設業、小売業で横ばいとなった。

今期の宮城の全国・東北との採算DI比較では、製造業、サービス業で全国・東北以下、建設業、小売業で全国以下・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・DI)

区 分 業 種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 22.0	△ 23.4	△ 27.8	△ 31.7	△ 28.1	△ 50.0
建 設 業	△ 27.3	△ 23.9	△ 35.7	△ 40.4	△ 37.5	△ 37.5
小 売 業	△ 34.6	△ 32.1	△ 39.9	△ 43.2	△ 37.2	△ 37.2
サービス業	△ 26.5	△ 24.1	△ 33.4	△ 30.6	△ 33.4	△ 35.4

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2024年7月～9月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業が12.5ポイント、サービス業で8.0ポイントの改善、建設業では△8.4ポイント、小売業でも△9.3ポイントで悪化の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で15.6ポイント、建設業で8.4ポイント、サービス業で10.4ポイントの改善、小売業では△7.0ポイントの悪化の見通しとなった。

② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城で改善、採算でも全国・宮城で改善の見通し。建設業では売上は全国・宮城で悪化、採算では全国・宮城で改善の見通し。小売業では売上が全国・宮城で悪化、採算では全国で改善・宮城で悪化の見通し。サービス業では売上が全国・宮城で改善、採算でも全国・宮城で改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区 分 業 種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 11.4	△ 7.1	△ 34.4	△ 21.9
建 設 業	△ 9.3	△ 14.7	△ 8.3	△ 16.7
小 売 業	△ 20.1	△ 32.5	△ 32.5	△ 41.8
サービス業	△ 0.9	△ 0.7	△ 18.0	△ 10.0

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区 分 業 種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 23.4	△ 17.2	△ 50.0	△ 34.4
建 設 業	△ 23.9	△ 20.6	△ 37.5	△ 29.1
小 売 業	△ 32.1	△ 30.3	△ 37.2	△ 44.2
サービス業	△ 24.1	△ 20.0	△ 35.4	△ 25.0

3. 県連報告書の表のグラフ化

報告書(1. 県下産業全体の景況)の表のグラフ化を以下に示す。

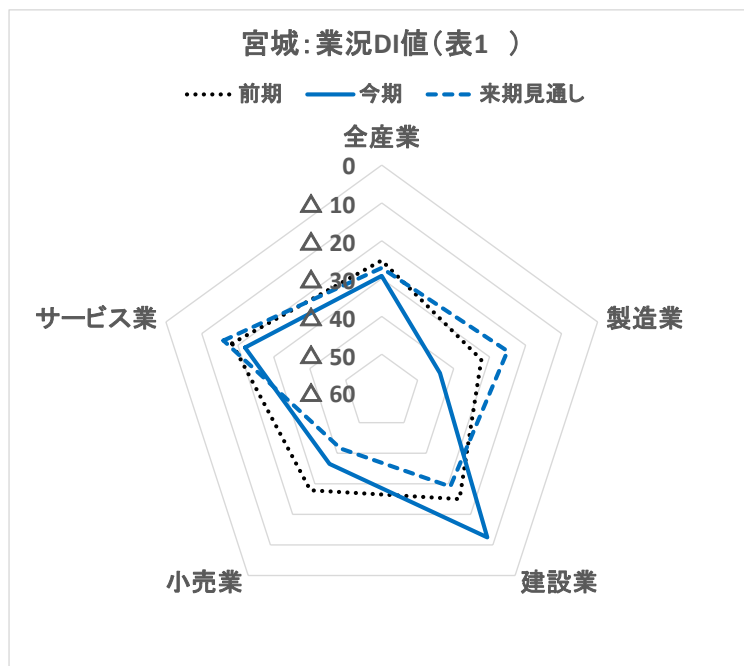
(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況 DI の状況と来期見通し

表-1	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 25.2	△ 29.3	△ 27.2
製造業	△ 32.3	△ 43.8	△ 25.0
建設業	△ 25.0	△ 12.5	△ 29.1
小売業	△ 27.9	△ 36.5	△ 41.5
サービス業	△ 18.4	△ 22.0	△ 16.0

前期から今期へは建設業を除くと全体としての業況判断は若干の下向きとの判断である。

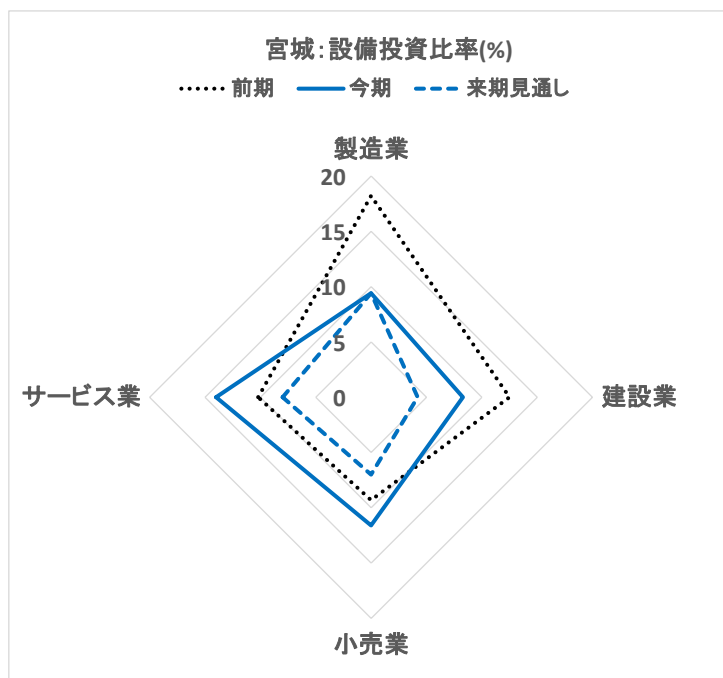
来期に向けては製造業が大幅な改善であるのに対し、建設業は大幅な悪化、小売業は悪化、サービス業は改善との見通しである。



② 設備投資の状況と来期計画

表-2	前期	今期	来期見通し
製造業	18.2	9.4	9.4
建設業	12.5	8.3	4.2
小売業	9.3	11.6	7.0
サービス業	10.2	14.0	8.0

製造業は来期も今期並みの投資見込みである一方、建設業、小売業、サービス業では来期は今期に比べて減少の投資見通しとなっている。



(2)全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

詳細は「県下産業別の景況に詳述されているのでここでは全体像の特筆事項のみを記述する。

① 売上額(完成工事額)の比較

・宮城・東北・全国の売上額をそれぞれ業種別にまとめてグラフ化する。(東北は前期・今期のみ)

● 表一3、表-5 より「宮城」の売上

	前期	今期	来期見通し
製造業	△ 27.3	△ 34.4	△ 21.9
建設業	△ 29.2	△ 8.3	△ 16.7
小売業	△ 7.0	△ 32.5	△ 41.8
サービス業	0.0	△ 18.0	△ 10.0

製造業は来期には大幅な改善の見通し的一方、建設業・小売業は悪化、サービス業は改善の見通しである。

● 表一3 より「東北」の売上

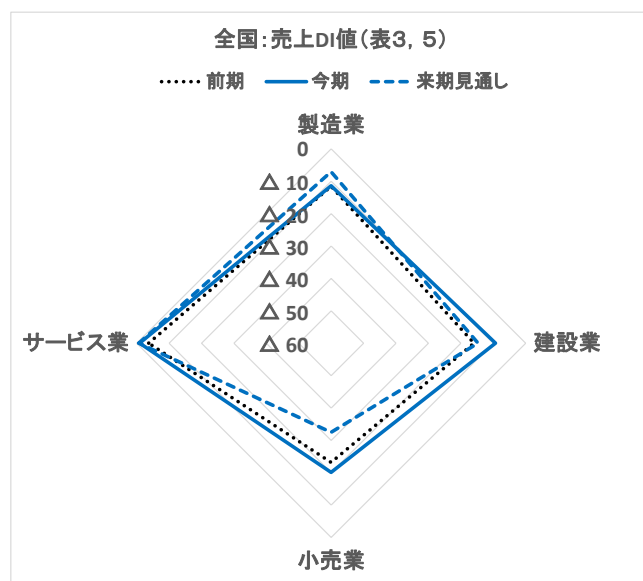
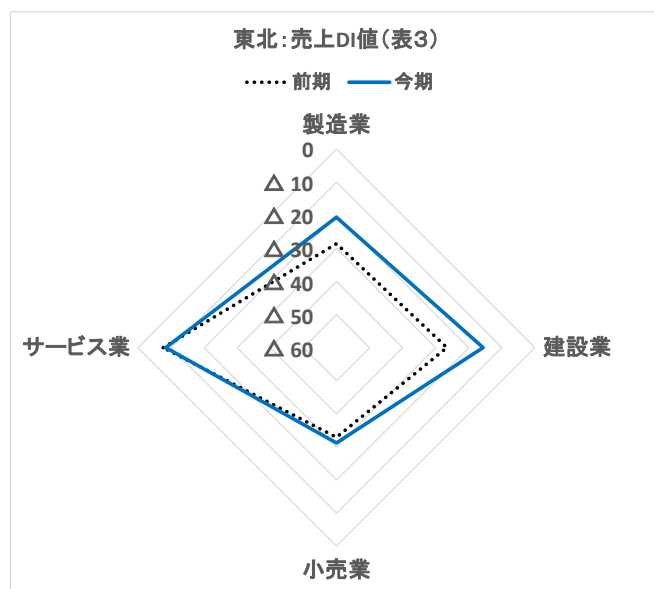
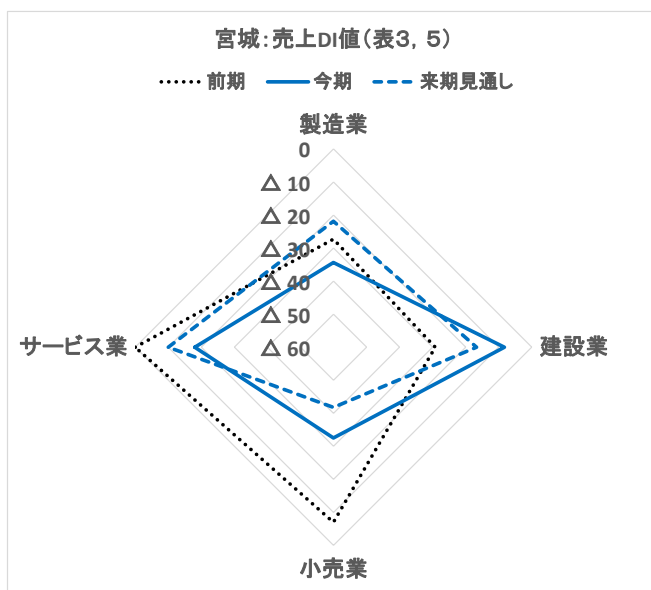
	前期	今期
製造業	△ 28.6	△ 20.6
建設業	△ 26.6	△ 15.7
小売業	△ 32.9	△ 31.2
サービス業	△ 7.6	△ 8.4

製造業、サービス業の今期は東北>宮城、建設業では宮城>東北、小売業では宮城～東北である。

● 表一3、表-5 より「全国」の売上

	前期	今期	来期見通し
製造業	△ 11.6	△ 11.4	△ 7.1
建設業	△ 15.9	△ 9.3	△ 14.7
小売業	△ 23.2	△ 20.1	△ 32.5
サービス業	△ 3.7	△ 0.9	△ 0.7

概ね、全国>宮城であるが、建設業の今期は若干宮城が勝っている。



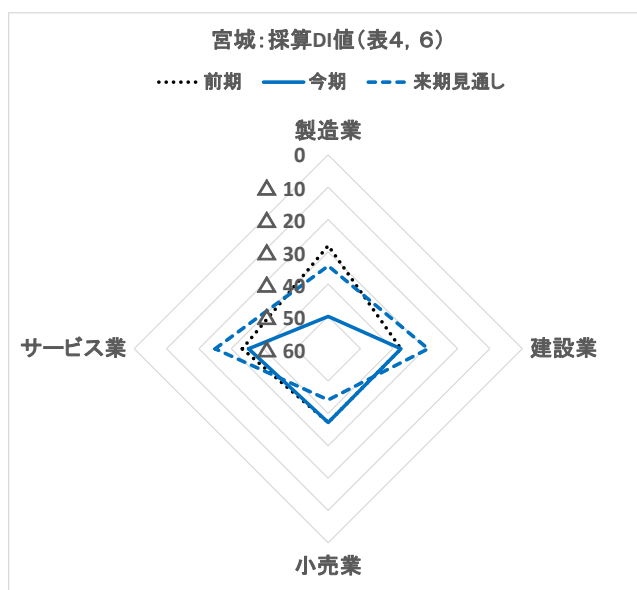
② 採算の比較

・宮城・東北・全国の採算をそれぞれ業種別にまとめてグラフ化する。(東北は前期・今期のみ)

● 表-4、表-6 より「宮城」の採算

	前期	今期	来期見通し
製造業	△ 28.1	△ 50.0	△ 34.4
建設業	△ 37.5	△ 37.5	△ 29.1
小売業	△ 37.2	△ 37.2	△ 44.2
サービス業	△ 33.4	△ 35.4	△ 25.0

製造業は来期大幅改善、建設業・サービス業が改善
の一方、小売業は悪化の見通しである。



● 表-4より「東北」の採算

	前期	今期
製造業	△ 27.8	△ 31.7
建設業	△ 35.7	△ 40.4
小売業	△ 39.9	△ 43.2
サービス業	△ 33.4	△ 30.6

今期の宮城・東北の比較では、
製造業、サービス業では東北＞宮城の一方、建設業、
小売業では宮城＞東北となっている。

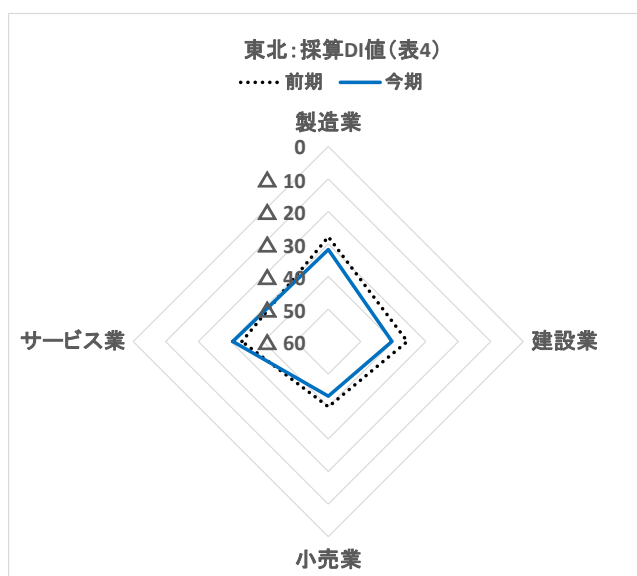


表-4、表-6 より「全国」の採算

	前期	今期	来期見通し
製造業	△ 20.3	△ 21.9	△ 19.4
建設業	△ 25.8	△ 26.9	△ 23.8
小売業	△ 32.6	△ 35.0	△ 30.9
サービス業	△ 21.8	△ 21.5	△ 19.6

概して全国＞東北である。

来期見通しではすべての業種で全国＞宮城である。

